令和４年度　高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔26〕世界のために生物生産科学で何を学ぶ？ （人類を救う食料生産研究）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 応用生物科学科 准教授　阿部　誠（計5名）
授業概要	生物生産科学科では、これから先も人類が安心して生活できるために、食料生産に関する様々な研究に取り組んでいます。基礎から応用、ミクロ（分子レベル）からマクロ（畑・田んぼレベル）まで多岐にわたる、生物生産科学科の研究を紹介します。		
授業方法と留意点	生物生産科学科教員によるオムニバス形式の授業です。生物や農業が好きな方はもちろん、食や理科全般に興味のある皆さんの受講も大歓迎です。		

授　業　計　画

【募集定員人数１８名】先着順で募集を締め切ります

＜６月１１日（土）11：10～12：40＞　助教　曽根　千晴

第１講：「アフリカの食文化と稲作」

遠く感じるアフリカ大陸でも日本と同じく米がたくさん食べられていますが、その食文化や稲の栽培方法には大きな違いもあります。今後アフリカと日本間の人や物のやり取りは益々増加していくでしょう。日本とは何が違って何が同じなのか、アフリカの環境で作られている「稲」の姿を紹介します。

＜６月１１日（土）13：20～14：50＞　准教授　阿部　誠

第２講：「昆虫食は世界を救う？！」

昆虫食がちょっとした話題になっています。昆虫を食料とすることは人類を救い、さらに環境にもやさしいのでしょうか？実際、あなたは昆虫を食べることができますか？昆虫食の良い点と問題点について、一緒に考えてみましょう！

＜６月１１日（土）15：00～16：30＞　准教授　上田　健治

第３講：「ゲノム編集って何？遺伝子組換えとは違うの？」

新しい遺伝子改変技術であるゲノム編集は、注目した遺伝子の働きを調べる基礎研究から、動植物の品種改良やヒトの病気の治療にまで幅広く利用されています。ゲノム編集の現状と今後について解説します。

＜６月１８日（土）11：10～12：40＞　教授　小峰　正史

第４講：「食糧生産とエネルギー　～持続可能な農業のあり方～」

現代の農業は，エネルギーをたくさん使うことによって作物を生産しています。食糧生産のどの場面でエネルギーが使われているのでしょうか？　農業分野におけるエネルギー消費の実態と，再生可能エネルギーを活用した農業のあり方について分かりやすく解説します。

＜６月１８日（土）13：20～14：50＞　教授　藤　晋一

第５講：「人と環境に優しい病害防除」

農作物を安定して生産するために、化学農薬を使用した病害虫防除が広く行われています。人と環境に優しい農業への取り組みとして、化学合成農薬に依存しない病害虫防除技術が開発・実用化されています。これら新しい技術についてわかりやすく解説します。

その他	6/11（土）、6/18（土）は昼食を持参ください。（昼食時間：12：40～13：20）				
テキスト	授業ごとに資料を配布します。				
参考文献	授業の中で紹介します。				
関連科目	生物生産科学（食文化、食料生産、再生可能エネルギー）、農学（稲作、病害虫防除）、生物学（植物、遺伝、昆虫）				
開講日時	６/１１（土）			６/１８（土）	
	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30	11：10～12：40	13：20～14：50
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）				
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1529（平日9：00～17：00）　E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp				